

巻頭 先生なら、どうしますか？

保健室登校を続ける生徒。
教室復帰を勧めるよりも将棋を指し続けることを選んだ担任としての2年間
大阪府・私立高槻中学校・高槻高校 磯崎陽介

2 特集

育成の重要性が高まる資質・能力 読解力とは何か？

- 4 Introduction PISA型読解力 早稲田大学教職大学院 教授 田中博之
- 10 Case1 世界史で育む読解力 埼玉県・私立立教新座中学校・高校
- 14 Case2 情報で育む読解力 神奈川県立横浜国際高校
- 18 Case3 探究学習で育む読解力 北海道名寄高校
- 22 Dialog 社会で求められる読解力
つくば言語技術教育研究所 所長 三森ゆりか × 北海道・市立札幌藻岩高校 対馬光揮

26 発問・課題設定をキーに見る
主体的・対話的で深い学び 授業実践

26 英語
山形県・私立東北文教大学山形城北高校
Joshua Pako (ジョシュア・パコ)

30 世界史
愛知県立大府高校 野々山 新
お勧めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

34 探究学習 つながり、伴走する教師たち 新連載
京都府・京都市立日吉ヶ丘高校
テーマ 探究×教科学習
お勧めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

36 そうだったのか！ 学習評価
理解度を確認！ 4つのチェックポイント
お勧めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

38 指導変革の軌跡
広島県立加計高校
地域連携
お勧めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

42 大学入試トレンド解説 新連載
拡大が続く総合型選抜・学校推薦型選抜の
実態と支援のポイント
お勧めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

48 Reader's VIEW

<https://view-next.benesse.jp/>

本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

印刷製本／(株)協同プレス 編集協力／(有)ベンダコ 執筆協力／二宮良太 撮影協力／岸 隆子、田中秀和、筒井岳彦、福山 哲、松原 誠、ヤマグチイッキ イラスト協力／カモ、斉藤明子
※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。
※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 © Benesse Corporation 2024

育成の重要性が高まる資質・能力

読解力とは何か？



新年度がスタートしました。今年度は、年次進行で実施されてきた新学習指導要領がいよいよ全面実施となります。その学習指導要領の改訂に影響を与えてきたものの1つに、OECDが進めている国際的な学習到達度に関する調査「PISA」があります。昨年の12月に公表された2022年調査（PISA2022）では、前回の18年調査からOECD加盟国の平均得点が低下した一方で、日本は数学的リテラシー、読解リテラシー、科学的リテラシーの3分野すべてにおいて平均得点が上昇し、世界トップレベルの結果を残しました。中でも、読解リテラシーが前回の調査から大きく順位を上げたことは、新聞やインターネット等の報道で大きく取り上げられ、注目を集めました。読解力というと、以前は、国語科や英語科で育成する力と捉えられることが少なくなかったかもしれませんが、近年は、どの教科・科目等においても育成すべき力、いわゆる教科横断的に育む資質・能力としての認識が広がっています。では、今求められている読解力とは、どのような力なのでしょうか。本特集では様々な知見や実践を基に、読解力をひも解いてまいります。

VIEWnext編集部 統括責任者 柏木 崇

P.4 Introduction

PISA型読解力とはどのような力か。どのように育んでいくのか
早稲田大学教職大学院 教授 田中博之

P.8 Column

PISA2022の結果分析 ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長 小村俊平

P.10 Case1 世界史で育む読解力 埼玉県・私立立教新座中学校・高校

資料を読み解くプロセスを整理し、歴史を解釈・批判する力を育む

P.14 Case2 情報で育む読解力 神奈川県立横浜国際高校

ICTを問題解決のツールとして活用し、情報を多面的に読み取り、伝える力を高める

P.18 Case3 探究学習で育む読解力 北海道名寄高校

「短探究」で身につけたスキルを駆使し、総合探究や教科学習で様々な素材を読み解く

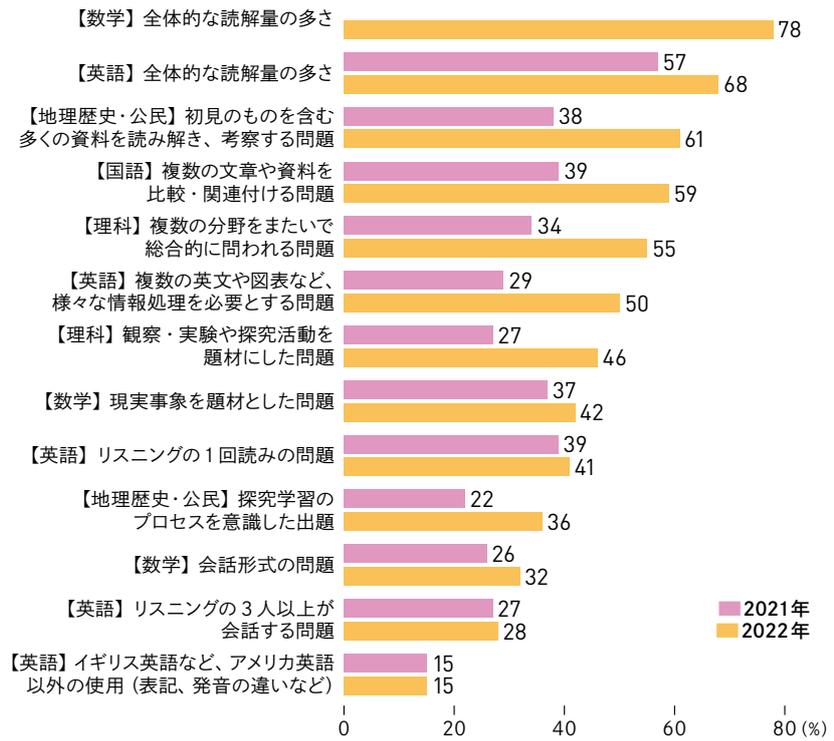
P.22 Dialog

安全・安心な環境で「なぜ」を問い続け、社会で求められる読解力を育む
つくば言語技術教育研究所 所長 三森ゆりか × 北海道・市立札幌藻岩高校 対馬光揮



図1

大学入学共通テストにおいて、今後の対応が必要となりそうな問題や特徴



※数値は、大学入学共通テスト受験者がいると回答した学校(2021年調査は939校、2022年調査は848校)のうち、各項目について「今後の対応が必要となりそう」だと回答した学校の割合。
 ※【数学】全体的な読解量の多さの項目は2022年調査より新設。
 ※ベネッセコーポレーション教育情報センター「2022年度 新課程および教育活動全般に関する調査」

学

校現場でも「読解力」の重要性を強く意識していることを示すデータの1つが、図1だ。問題のページ数や総単語数が多く、様々な資料・題材が取り上げられる大学入学共通テストにおいて、「今後の対応が必要となりそうな問題や特徴」として現場が捉えているものも多くが、いわゆる「読み解き」に関連するものであることが分かる。

一方、PISA2022では、日本の読解力の平均得点は上昇し、順位も回復した(図2)。

以上のように、近年注目が集まる読解力だが、それ

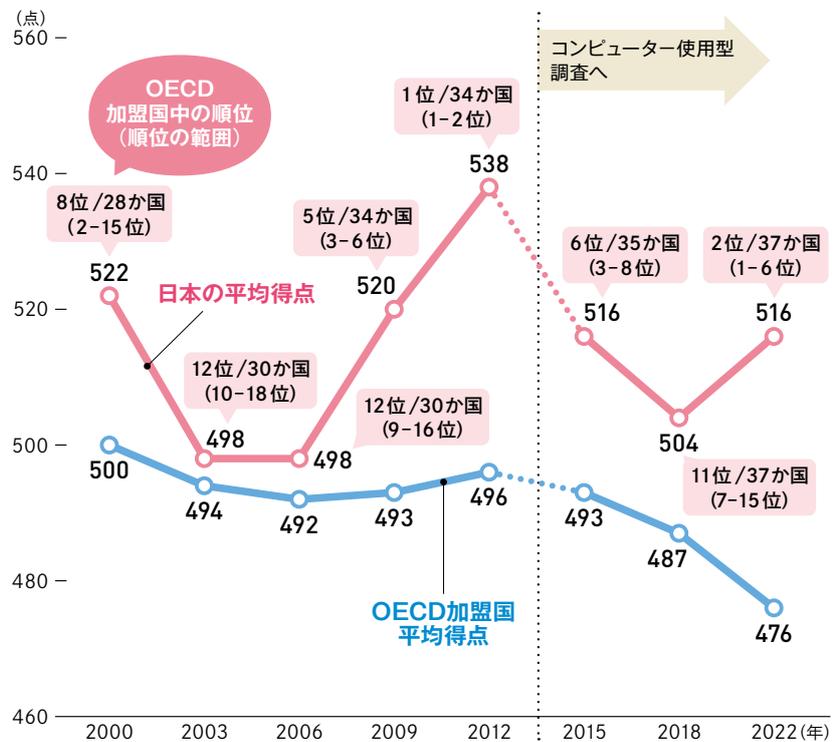
は具体的にどのような力なのだろうか。そしてそれは、どのようにして育成していけばよいのだろうか。

先生方とともに
考えたい「問い」

今後求められる読解力とはどのような力で、それをどのようにして育むのか？

図2

PISAにおける読解力の順位と平均得点の推移



※文部科学省・国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査 PISA2022のポイント」を基に編集部で作成。